

イベント奏者の紹介

ギター演奏 **相川 達也** さん (昭和49年卒)



一瀬純一、中林淳真、エルネスト・ビテッティ、ホルヘ・アリサ、ホセ・ルイス・ゴンサレスの各氏に師事。1975年よりスペイン留学。スペイン王立マドリッド音楽院ギター科卒業。卒業後渡米。ニューヨークのマンハッタンギター音楽院教授に就任。1984年帰国。以後毎年春に東京、秋に甲府で定期リサイタルを開催。1996年 CD「ラ・ボアシエ」を発表。2005年6月 セカンドCD「リサイタル」を発表。独奏および室内楽の分野で国内外で活躍中。相川達也ギター教室主宰。



山梨県内の高校や短大のマンダリンクラブのOGが中心になって2000年に結成された、主婦によるマンダリン・アンサンブルで甲府一高OGも加入しております(全23名)。「プリランテ」とはイタリア語で「輝いて、輝きを持って活発に」という意味があり、常にそうありたいという願望をもって命名されました。2011年1月に第5回を数えた「かがやきコンサート」をメインに、社会貢献として福祉施設などでのボランティア演奏、甲府市文化祭への参加、公共施設でのロビーコンサートなど演奏活動を行っています。2005年より相川達也氏が常任指揮を務めています。

友情出演 **宮崎 仁** さん (パーカッション)

甲府市出身。東京芸術大学音楽学部打楽器科卒業。シエナ・ウインド・オーケストラ創立メンバー。アコースティック・バンド「G-クレフ」メンバー。1990年、G-クレフのアルバム「五右衛門」が日本レコード大賞アルバム企画賞受賞。同年NHK「紅白歌合戦」に初出場。1993年 渡米ポピー・サナブリア氏に師事。

箏演奏 **山下 一恵** (山下名緒野) さん (昭和49年卒)



幼少の頃より母都築登声に箏の手ほどきを受ける。1972年 鳥居名美野先生に師事(現在に至る) 1974年 東京芸術大学音楽学部邦楽科入学 1978年 同大学卒業 1980年 NHK邦楽技能者育成会第25期修了 1984年 河東節萩江節の三味線を山彦さわ子先生、萩江さわ子先生に師事。 1985年 文化庁国内研修員に任命。 2007年～2009年 東京芸術大学非常勤講師 現在 洗足学園音楽大学組歌講座講師 NHK「邦楽のひとつとき」「邦楽百番」「邦楽花舞台」に出演。

表紙作者：**込山 富秀** さん (昭和49年卒) 電通アートディレクター

約40年ぶりに校舎の教室に入ってみた。残念ながら当時の校舎ではない。空間的位置はほぼ当時と同じはずである。一人4階の教室の引き戸を開ける——窓からこんな素晴らしい景色が広がっていたとは、い。あの頃の自分はいったい何を見ていたのか、ああ恥ずかしい。続きは別冊「美咲めぐり」でお楽しみください。

サントリー new オールド 「恋は遠い日の花火ではない」・JR 東日本「もっと2」「ジャンジャカジャー」、ICカード「Suica」導入キャンペーンなどを手がける。フルムーン、青春18きっぷのポスターは今も続く。40代は京都造形芸術大学、東京芸術大学で講師を歴任。



幹事のつづやき

甲府中学出身の父は、甲府での同窓会幹事の年齢にはすでに病床にあり、その後他界しました。一高卒の長男は、やがて幹事の年齢に達すれば、きつとながしかの役割を果たすでしょう。僕は幸いにも、甲府と東京で三回も総会のお手伝いをする機会に恵まれました。特に今回は、いにしえの心(父)と新しき智慧(長男)とをつなぐ架け橋になればと思ひ、参加させていただきました。

相川 達也

土曜日集まれ。夜集まれ。会合の多い事。私 そのあたりの時間が仕事忙しいんですけど。まあ、そうは思いつつ、あまりに久しぶりな面々との作業で新しい友人ができたような楽しみもあり、ラストまでがんばります。

今澤 晋

本日、盛大な東京同窓会が開催できますのも多大なご支援を頂きました同窓生の皆様、広告を出して頂きましたスポンサーの皆様、毎年ご協力を頂いて頂きました東京会館様など多くの皆様のお陰と厚くお礼申し上げます。昨年同窓会の準備を始めましたが、一時はどうなる事とかと思う事もありました。しかし同級生の持ち味を生かしたスクラムで一つ一つ乗り越える事ができ、同窓会準備を通じ仲間の絆という貴重な財産を得たと思ひます。

小田 切信

窪田 三枝

山梨からの参加でありお役に立てませんでした。得たものがありました。それは高校三年間で関わる事になった方と出会い、親しくなれた事。同窓生という響きの魔法でしょうか？そして皆が人生で培ってきたものを持ち寄り、ぶつかりながらも拘りを持って作り上げた同窓会と記念誌が出来上がる過程に立ち会えた事。これは幹事にしか味わえない貴重な体験でした。

窪田 由起子

専門主婦歴三十二年の私も「少しはお手伝い出来れば」とがんばりました。高校時代の仲間と充実した時間を過ごさせて頂きました。

近藤 厚子

地元以外の地域で大きな同窓会組織を持つ高校は日本広しと雖も、多くはない。今更ながら、伝統校の懐の深さを感じている。今回の東京同窓会開催準備に、甲府在住ながら携わることができた事には不思議な縁を感じている。特に、在校時には言葉を交わしたこのない友人達と語り合えた事は有益であった。住職という職業柄、他県の友人達と顔を合わせる機会がなかったが、これを機に大いに交流したいと思う。いずれは、同窓生となる息子と共にこの同窓会に出席したい。

佐藤 光政

平成八年のサブ幹事から、あつと言う間に十六年が経ち、幹事年度が廻って来ました。最初は不安で一杯でしたが、東京同窓会の役員の皆様や先輩、何よりも四十九年卒の仲間の協力のお陰で、第五十三回の東京同窓会を無事開催する事が出来ました。本当にありがとうございます。

清水 喜彦 (幹事長)

一紅会何て名前も知らなかったのに、パソコン何て使う事も無かったのに、ちょっとお願いの一言で乗せられてしまいました。神輿は軽い方がいいなんてね。

今では、パソコンオタクと言われるまでになっています。卒業して四十年近く、初めて顔を合わせた女性達も今では女子会で盛り上がり、一泊温泉旅行の計画中。二度目の修学旅行も夢ではないかもです。新しい仲間に出会えたことに感謝。

瀧田 智子

今年、本会のホームページを含め、オリジナルドメインを取得し、全体のシステムを構築。ホームページの貸家暮らしから、持ち家を持ちました。安くしたり、なんでも自分で造らなければならぬ、泥沼化してあります。事務局長には急かされるし、何でもホームページが万能だと思われても…。来年以降の当番幹事の皆さん盛り立ててください。

竹内 浩一

今回幹事長からお誘いいただき、準備に参加致しました。昼夜の打合わせで先輩方にあたたかみを感じていただき多謝。一高の伝統を改めて痛感する日々でした。一高生でよかったです！

武内 信二 (昭和五十二年卒)

一高を卒業して甲府を出てから三十八年、自動車会社での会社生活も三年後には定年を迎えます。今年の一高東京同窓会活動を手伝う中で、山梨からの応援も含めて懐かしい仲間にも会うことができました。同期一同結束して無事に東京同窓会を開催して、来年からは同期で気楽に美味しいお酒を飲みたいと思っています。

永嶋 幸弘

広告担当の幹事でしたが、ほとんどお役に立てず恐縮です。部長ほか応援して頂いた皆さまのお陰です。感謝しております。当日は救護班を命ぜられました。活動の場がないことをお祈りしております。

永島 淳一

当番幹事メンバー・一高OB皆様のご協力により、広告部会長の責を何とか果たすことができました。正直広告営業活動は思いのほか大変ではありましたが、清水幹事長の力強いバックアップと先輩各位の励ましで目標をクリアすることができました。多くの方とお話する中で、故郷や母校への熱き思いを感じることができました。この貴重な経験を大切にして、一高の伝統を継承しこれからも頑張りたいと思います。

新田 陽一

齢五十代の後半をむかえ、「どんなでもない事が始まったぞ。どうしよー」が第一声！時間の経過とともに何とかなるさ、みんないるんだからと思えるようになってきたのが不思議なものだ。この機にPCも購入し、悪戦苦闘！打ち合わせの後の飲み会だけが楽しみな、邪な幹事です。ごめんなさい。でも楽しかったな。一高の三年間に感謝です。これからゆっくり余生を楽しめそうな仲間と再び出会いました。一高パンザイ。

広瀬 高行

清水幹事長の鶴の一声で事務局を担当することになりました。担当し始めて感じたことは、当り前ではありませんが各部会長及び幹事の方々と顔を合わせたコミュニケーションは月に一回程度の幹事のみ。従って幹事の方々との意思疎通が非常に重要であり、かつこれがうまくいかないために暗礁に乗り上げている問題が多々発生しています。この点事務局としての力不足を痛感しております。何はともあれ無事七月十四日が成功裏に終了しますように！

保坂 明彦 (事務局長)

お世話になった甲府一高への恩返しとの気持ちから幹事を引き受けました。高校時代一言も話をしたことのない人、卒業以来久しぶりに会った人、でも全く違和感なく甲州弁丸出しで楽しんでやることができました。

細田 和孝

白球が取り持つ同窓の絆

本同窓会では、ゴルフ愛好者によるコンペ「日新会ゴルフコンペ」を春と秋の2回開催しています。場所は八王子の相武カントリー。今春は26年卒から48年卒までの47名が参加して、和気藹々のうちに一日を楽しみました。女性の参加者も増え、前は8名でした。先輩後輩が混じる組合せで甲州弁も飛び交う中、3,4ホールを回る頃には、20数年の隔たりもすっかり打ち解けて、同窓の絆で結ばれます。競技は、各学年上位3名のグロスによる団体戦(卒業年次によるハンデあり)と新ベリアによる個人戦です。腕に自身のある方はもちろん、H.C.を一杯持っている方も気軽に奮って参加してください。女性の方ももちろん大歓迎です。興味のある方、もう少し詳しく知りたい方は、下記に気軽にお問合せ下さい。

日新会事務局担当 荒井 彌征 〒194-0033 東京都町田市鶴川 6-9-12 406
電話&FAX 042-708-8835 E-mail anb03306@nifty.com

松本 博美